

< 報道関係者各位 >

 2021年11月26日
 すみだ北斎美術館

企画展開催のお知らせ

企画展「北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—」

武田信玄や徳川家康など、歴史上のあの人も登場

すみだ北斎美術館では2021年12月21日（火）から2022年2月27日（日）まで「北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—」展を開催いたします。



本展では日本の歴史に焦点をあて、葛飾北斎やその弟子などが歴史上の人物や事件を描いた作品を集めました。主に高等学校の日本史の授業で取り上げられる人物や事件を軸とし、当時の歴史観に基づき神話の時代から安土・桃山時代、そして北斎の生きた江戸時代の歴史的な事象が描かれた作品、弟子の描いた明治時代の錦絵までを展示いたします。

■本展の見どころ

見どころ（1）北斎や弟子が描いた作品とともに、歴史小説や物語等でも有名な歴史的場面を楽しめます。

見どころ（2）北斎や弟子が描いたイメージから、作品が描かれた江戸時代当時の歴史の見方をうかがい知ることができます。

見どころ（3）高校日本史で習う歴史用語の解説や、北斎や弟子の作品に描かれているポイントも一部解説しています。

展覧会構成

- 神話の時代
- 古墳・飛鳥時代
- 奈良時代
- 平安時代
- 鎌倉時代
- 室町時代
- 安土・桃山時代
- 江戸時代
- 明治時代


 報道関係の
 お問い合わせ先

 すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
 野田 / 中原 / 林（アシスタント高橋）
 TEL：03-6658-8991 / FAX：03-6658-8992
 Email：hm-pr@hokusai-museum.jp


■本展のハイライト

コノハナノサクヤビメ 『富嶽百景』の最初のページに描かれた神



葛飾北斎『富嶽百景』初編 木花開耶姫命 すみだ北斎美術館蔵（通期）



『富嶽百景』は北斎の富士図を約 100 図収載した版本で、本図はその最初のページに描かれたコノハナノサクヤビメです。衣服をチリチリとした線で表現するなど、北斎の描く美人画の特徴がみられます。

コノハナノサクヤビメは『日本書紀』や『古事記』に登場する神で、富士山麓にある浅間神社の御神体としてまつられています。

神話の時代

『古事記』や『日本書紀』などに記される神話は、江戸時代には日本の歴史の起源として考えられていました。アマテラス、スサノオノミコトなど、神話に登場する神々などを描いた作品を紹介します。

仏教伝来 北斎が描いた仏教伝来の歴史的場面



葛飾北斎『三国伝来記』第一図 すみだ北斎美術館蔵（前期）



御簾の奥には欽明天皇が。



鳳輦（ほうれん）

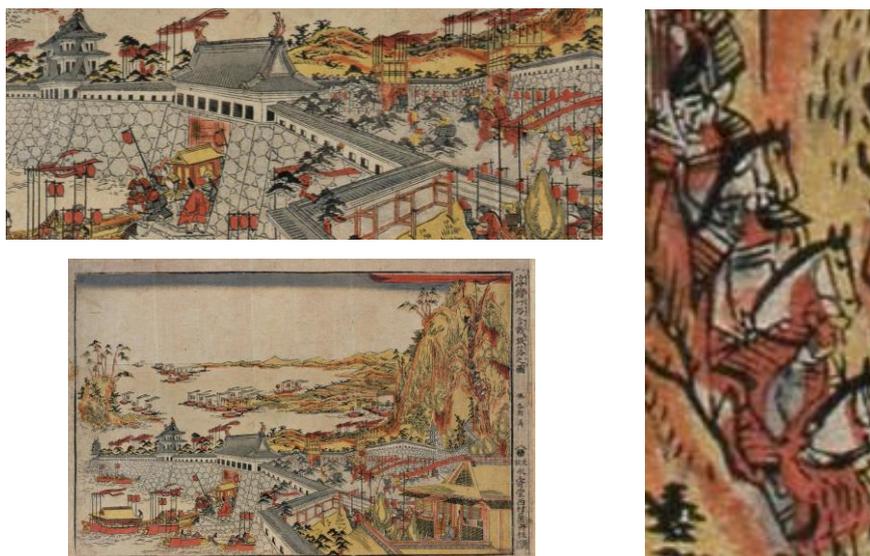
『三国伝来記』は善光寺（長野県）本尊の由来記の挿絵を北斎が描いたものです。本尊は百済（くだら）の聖明王（せいめいおう）から伝えられた仏像としています。本図は御簾の奥の欽明（きんめい）天皇へ、二人の百済の僧が鳳輦（ほうれん）を捧げている場面です。本尊の仏像は描かれていませんが、鳳輦の中にあると考えられます。

日本史の教科書で習う「仏教伝来」は、公式には百済の聖明王が欽明天皇に仏像や経典を伝えたといわれていることから、本図はまさに日本に仏教が伝わった歴史的場面といえます。

古墳・飛鳥時代

仏教伝来や、聖徳太子、大化の改新など、古墳・飛鳥時代（3世紀中頃～645年頃）に関する人物や出来事が描かれた作品を展示します。

一の谷の戦い 城郭の構図や騎馬が連なる表現に注目



葛飾北斎「浮絵―ノ谷合戦坂落之図」すみだ北斎美術館蔵（作品を替えて通期で展示）

本図は平家物語にも登場する「一の谷の戦い」を北斎が浮絵（*1）に描いた作品です。一の谷の戦いでは、源義経は平氏軍の背後に位置する鶉越（ひよどりごえ）の断崖を駆け降りて奇襲し、平氏軍に勝利しました。画面右側には断崖を源氏方の騎馬が連なり駆け降りる様子が描かれています。さらに、城郭には複数の消失点をとった透視図法が用いられています。

*1 浮絵：浮世絵で、西洋風の遠近透視画法を中心とし明暗・陰影を施した絵のこと。

畠山重忠 一の谷の戦いで、馬を担いで断崖を降りたと伝わる大力・剛勇の鎌倉武士



葛飾北斎「畠山重忠」すみだ北斎美術館蔵（後期）

本図は軍記物語『源平盛衰記』に記された話に基づいて描かれたものと考えられます。

畠山重忠（1164～1205）は、平安・鎌倉時代初期の武士です。当初平氏軍でしたが、後に源頼朝に従い、源義仲追討などで活躍しました。北条義時と畠山重忠が登場する版本『星月夜頭晦録』も通期で展示します。

鎌倉時代

源平の合戦も含め、執権となる北条氏などの人物、武家の争いによる社会不安の中で生まれた鎌倉仏教の開祖など、鎌倉幕府の時代（12世紀末～1333年）を描いた作品を紹介します。

上杉謙信と武田信玄 北斎が描いた戦国大名の一騎打ち



葛飾北斎『画本武蔵鑑』下 上杉輝虎入道兼信 武田晴信入道信玄 すみだ北斎美術館蔵（通期）

本図には、川中島の戦いの名場面として伝わる、上杉謙信と武田信玄の一騎打ちが描かれています。信玄をはじめ、甲州武士について記された軍学書には、“混戦のなか、白手ぬぐいで頭を包んだ武者が馬に乗って刀を抜き、突進して切りつけてきたので、信玄は立って軍配で受けた”と記されています。本図も、騎乗で切りつける上杉謙信と、刀を軍配で受ける構図など、この記述に近い描き方がされています。

<北斎の武者絵版本の傑作> 『和漢絵本魁』、『絵本武蔵鑑』、『絵本和漢誉』

『和漢絵本魁』（わかんえほんさきがけ）、『絵本武蔵鑑』（えほんむさしあぶみ）、『絵本和漢誉』（えほんわかんのほまれ）の3冊には、北斎が描いた武田信玄と上杉謙信のほか、宮本武蔵と佐々木蔵流（佐々木小次郎）など、歴史上著名な人物の武者絵が合計約90図収載されています。甲冑を着ている武者でも、様々な身体の動きを自在に描いている点や、画面を見開きで縦に使うことで迫力を演出する工夫をしているのも見どころです。

本能寺の変 忠義を尽くした家臣が大きく描かれた本能寺の変



二代柳川重信『日本百将伝一話』十二 本能寺に明智主に運る すみだ北斎美術館蔵（通期）

本図には本能寺の変が描かれています。屋敷の外には信長を急襲した明智の家紋である桔梗紋の旗があり、本能寺に攻め込んでいます。信長の小姓で、信長ともに討死した森蘭丸、森坊丸兄弟が手前に大きく描かれ、右奥に信長が描かれています。

安土・
桃山時代

安土・桃山時代（1568～1600年頃）は、応仁の乱後、大名が力をつけ群雄割拠し、そのなかから織田信長や豊臣秀吉が出て全国統一がなされた時代です。戦国大名を描いた作品を中心に集めて紹介します。

徳川家康 浮世絵師が江戸幕府将軍を描いた珍しい作品



二代葛飾北斎「徳川家康東帯座像」すみだ北斎美術館蔵（前期）

北斎の弟子・二代葛飾北斎が徳川家康を描いた肉筆画です。浮世絵師が江戸幕府の将軍を描いた作品は珍しく、「恐惶頓首百拜 北斎拜写」の落款からは、敬意をもって描いたことがわかり、当時の人々の幕府への見方を示しています。

江戸時代

江戸時代（1603～1867年）は、徳川家康によって開かれた江戸幕府の時代です。現在から見ると歴史的な事象である朝鮮通信使など、北斎が実際に見たと思われる事柄も登場します。

担当学芸員のコメント

このほか、紫式部や源頼朝、楠木正成など、どこかで名前を聞いたことがある、“あの人”も作品に登場します。今までイメージしていた人物像と比べて、北斎を身近に感じていただけると幸いです。

開催概要

| | |
|--------|--|
| 展覧会名 | 北斎で日本史 —あの人をどう描いたか— |
| 会期 | 2021年12月21日（火）～2022年2月27日（日）※前後期で一部展示替えあり 前期 2021年12月21日（火）～2022年1月23日（日） 後期 2022年1月25日（火）～2022年2月27日（日） |
| 休館日 | 毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月1日） ※開館：1月2日（日）、1月3日（月）、1月10日（月・祝） 休館：1月4日（火）、1月11日（火） |
| 開館時間 | 9:30～17:30（入館は17:00まで） |
| 場所 | 3階企画展示室 |
| 主催 | 墨田区・すみだ北斎美術館 |
| お問い合わせ | 03-6658-8936（9:30～17:30 ※休館日を除く） |
| 公式サイト | https://hokusai-museum.jp/hokusaidenihonshi/ |

- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- 最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

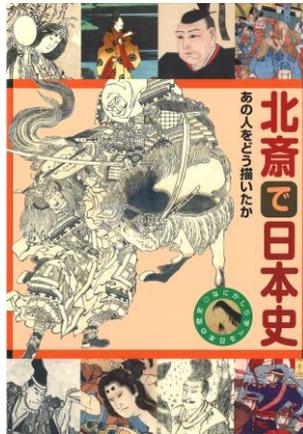
■企画展「北斎で日本史」観覧料 ※AURORA（常設展示室）、常設展プラス観覧料含む

| | 一般 | 高校生 大学生 | 65歳以上 | 中学生 | 障がい者 | 小学生以下 |
|----|--------|------------|-------|------|------|-------|
| 個人 | 1,000円 | 700円 | 700円 | 300円 | 300円 | 無料 |
| 団体 | 800円 | 560円 | 560円 | 240円 | 240円 | 無料 |

- 本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA（常設展示室）をはじめ全ての展示をご覧になれます。
- 団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。

■オリジナルリーフレット

『北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—』リーフレットを、1階ミュージアムショップにて12月21日（火）から発売します。どこかで聞いたことがある日本歴史上の人物や事件が、北斎や弟子の作品にどのように描かれているのか、一部、歴史用語の解説も交えてオールカラーで紹介します。



| | | | |
|---|---|---|----|
| タ | イ | ト | ル |
| 価 | | | 格 |
| 発 | 売 | | 日 |
| 判 | 型 | / | ペー |
| | | | ジ |
| | | | 数 |

『北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—』リーフレット
税込 300 円
12月21日（火）
A4 縦長 8 ページ

今後の企画展のお知らせ

展覧会名 北斎花らんまん

会期 2022年3月15日(火)～2022年5月22日(日) ※前後期で一部展示替えを予定
前期 3月15日(火)～4月17日(日)、後期 4月19日(火)～5月22日(日)

休館日 毎週月曜日 ※開館：3月21日(月・祝)、休館：3月22日(火)

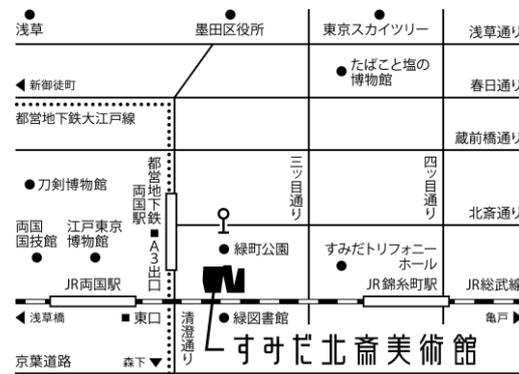
開館時間 9:30～17:30 (入館は17:00まで)

主催 墨田区・すみだ北斎美術館

花は古来より人々に愛され、絵画の主題としても数多く取り上げられてきました。本展では、北斎やその門人たちの作品から、桜をはじめとした様々な花の作品約100点を展覧します。花見の対象とされる花、物語に登場する花、意匠として着物や道具に施される花等、生活のあらゆる場面で愛でられてきた花に関する作品をご紹介します。描かれた花々を通じて、花を愛でる文化に親しみを感じていただけましたら幸いです。

すみだ北斎美術館 The Sumida Hokusai Museum

| | |
|----------|---|
| 開館時間 | 9:30～17:30 (入館は17:00まで) |
| 休館日 | 毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 年末年始(12月29日～1月1日) |
| 所在地 | 〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2 |
| お問い合わせ | 03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く) |
| 公式サイト | https://hokusai-museum.jp/ |
| Twitter | https://twitter.com/HokusaiMuseum/ |
| Facebook | https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/ |
| YouTube | https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg |
| アクセス | 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分 |



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ

野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)

TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992

Email : hm-pr@hokusai-museum.jp



| 入館方法のご案内 |

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下をお願いしております。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展覧会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

| ご来館のお客様へのお願い |

(2021年11月2日更新)

- 発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- 入館前の検温と手指消毒
入館時に検温と手指の消毒をお願いしています。
チケットカウンターに自動検温/手指消毒器（非接触型）を設置しています。検温の結果37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。消毒のご協力が難しい際は、入館をご遠慮いただく場合がございます。

ミュージアムショップ入口に手指消毒液を設置しています。入店時には再度手指の消毒をお願いしています。

<ご観覧前/後>
4階のAURORA（常設展示室）にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- マスク着用
館内ではマスクご着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」（マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかりと覆う）にご協力ください。
- 観覧券保管
入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。
- 入場制限
館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。
- エレベーター定員
エレベーターの定員を3名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。
- 展示室、ミュージアムショップをはじめ、館内での会話はお控えください。
- 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。

| すみだ北斎美術館の感染予防対策 |

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は1日4回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 新規の団体ご予約は当面の間中止いたします。

◆北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—

展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

◀ 画像貸出に関して注意事項 ▶

- ・画像を使用の際は、クレジット全文（作家名・作品名・所蔵先・展示期間）の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください（部分図のみの使用は不可となります）。
- ・ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

1. 葛飾北斎『富嶽百景』初編 木花開耶姫命 すみだ北斎美術館蔵（通期）
2. 葛飾北斎『三国伝来記』第一図 すみだ北斎美術館蔵（前期）
3. 葛飾北斎「浮絵一ノ谷合戦坂落之図」すみだ北斎美術館蔵（作品を替えて通期で展示）
4. 葛飾北斎「畠山重忠」すみだ北斎美術館蔵（後期）
5. 葛飾北斎『画本武蔵鑑』下 上杉輝虎入道兼信 武田晴信入道信玄 すみだ北斎美術館蔵（通期）
6. 二代柳川重信『日本百将伝一夕話』十二 本能寺に明智主に逼る すみだ北斎美術館蔵（通期）
7. 二代葛飾北斎「徳川家康束帯座像」すみだ北斎美術館蔵（前期）

| |
|---------------------------|
| 貴社名 |
| 貴媒体名 |
| 部署名 (役職名) |
| ご芳名 |
| ご連絡先 TEL FAX E-mail |
| ご掲載・放送予定 月 日 |
| 備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。 |



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp

